



2019年がスタートしました。冬季休業中には春に備えるため、寒さに負けず学習に部活動に精一杯取り組みました。冬期講習では入試直前の3年生に加え1・2年生も各教科の発展学習にじっくりと取り組みました。部活動では、2年生が中心となって部をまとめあげています。今年も何事にもチャレンジする北高生を応援いただきますようよろしくお願いいたします。



華道部作品・草野涼華
(2年・岩沼西中出身)



冬期講習でラスト
スパートをかける
3年生



近隣の方々約70
名で元旦稽古に取
り組んだ剣道部



センター試験のリ
ハーサル試験に取
り組む3年生



県内・外の7校と
合同合宿で、着実
に力を付けた女
子バレー部



卒業生とともに駅
伝競走を楽しむ陸
上競技部

校内リーダー研修会（防災ワークショップ）を行いました

12月26日（木）、仙台管区气象台から防災気象官の鹿野義明様と統計係長の玉手雄一郎様を指導助言者としてお招きし、本校各クラスのリーダーによる校内リーダー研修会「大雨・洪水防災ワークショップ」を行いました。この経験を生かし、非常時に人の命を守ることができる若者に成長して欲しいと思います。

リーダー研修会「大雨・洪水防災ワークショップ」に参加して

今野美晴（2年・名取二中出身）



今回のリーダー研修会では、大雨による被害への対処法、特に避難する際に注意することについて学ぶことができました。避難するといっても、道路状況や避難所の立地、家族の様子など様々なことに配慮しなければいけません。状況によっては避難しない方が安全な場合もあり、周りの状況をよく見て瞬時に判断することが大切だと感じました。災害に対する備えについて深く考えることがなかったので、今回とてもいい経験をすることができました。今後の生活の中で、災害に対して意識を向け、いつ何があってもいいように非常袋の整理や居住地区の避難所、防災マップの確認など万全の準備をしたいと思います。また、リーダーとしてクラスや部活動などで研修会の内容を伝え、学校全体が防災に対する意識を高めていけるように協力したいと感じました。



東北ブロック家庭クラブ研究発表大会で優秀賞

12月号で紹介しました家庭クラブの東北大会についてお知らせいたします。

12月14日（金）、岩沼市で開催され、本校から1年生の**本田春菜**さんが宮城県を代表して発表し、**優秀賞**をいただきました。応援いただきました皆様、ありがとうございました。

「無駄のない食生活」

本田春菜（1年・岩沼中出身）



私はホームプロジェクトの部で宮城県を代表して第66回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会に参加しました。発表のテーマは「無駄のない食生活」～食品廃棄物0%を目指して～でした。当日は東北の各県から代表が集まりレベルの高い研究発表を観ることが出来ました。県大会の前から練習していた成果を十分に発揮し、優秀賞をいただくことができました。今後もこの研究の経験を活かし環境保全に貢献していきたいです。発表のためご協力いただきました皆様ありがとうございました。

3学年PTA行事開催

12月20日（木）、生徒の進路達成と学校に関わる人が全て幸せになることを祈願し、また、残り少ない高校生活の思い出づくりを兼ねて、3学年PTA行事として、恵方巻きづくりを行いました。生徒は、一致団結して約30mの恵方巻きを巻きあげました。完成した恵方巻きは、それぞれ



の願いを込めて、全員で南南東の方角を見ながら美味しくいただきました。ご協力いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

PTA3学年委員長の**半澤由加里**様から「皆様の幸せと明るい未来を願い一気に美味しくいただき、忘れられない一日となりました」と感想をいただきました。

今月は、本校から徒歩で三分のところにある、ジャズ喫茶「PABLO」店長の半澤由紀様にインタビューしました。名取市閑上の出身の半澤様は、地元への思いと、多くの方々とのご縁により一年前に震災後休業していた「PABLO」を復活させました。

COFFEE & SESSION 「PABLO」 店長 半澤 由紀 様

Q このお仕事を始めたいきっかけは？

A 震災後、地元に関わりが深まらなかつた。私は物づくりや接客業が好きで、仙台市に雑貨屋を開業し、海外から買い付けた雑貨と自作の絵画とアクセサリーを販売していました。雑貨屋に、幼なじみで、「PABLO」のオーナーの娘さんと、高校の恩師（ジャズ愛好家）がよく遊びに来てくれました。その二人の縁で「PABLO」を知ることになりました。「PABLO」の空間に一目惚れでしたが、雑貨屋を開業したばかりで資金面に不安があり、躊躇していました。そこに現れたのが、現オーナーの村上辰大様です。私にサンフランシスコのカフェを紹介してくれながら、ご自身もカフェの経営を夢見ていることを話されました。そこで、「PABLO」を見ていただき、一目で気に入っていただきました。多くの方々との縁と、いくつもの偶然によって夢を叶えられることになった瞬間でした。現在では、閑上の被災された方が懐かしんで足を運んでくれます。また、常連さんが、今のお店の雰囲気を楽しんでくれて、それだけで満たされています。



Q お店自慢の食事やコーヒーは？

A 日替わりランチです。現オーナーのお母様が腕を振るってください家庭の味・安心する味を提供しています。私は、ドリンクとデザートを担当で、デザートセットにも自信があります。是非、高校生の皆さんにも、この素敵な雰囲気味わっていただければと思います。営業時間は午前十一時～午後七時（日曜日は午後五時まで）で、定休日は月曜日です。

Q 得意なこととは何ですか？

A 母が自宅で絵を描く人でした。私が生まれたときからずっと絵日記を書いてくれました。この影響で私も絵を描くことが好きで、中学校の時に作品展に出品することで多くの方に作品を見ていただく機会が増え、自分の将来設計ができたと感じています。高校は美術科のある学校に進学し、絵の基礎を学びました。高校卒業後は東京のアクセサリー専門学校に進学し、そのままだ東京でアクセサリーの専門職に従事し、シルバークセサリーをつくっていました。その後、アートの分野で評価の高いフィンランドのアートスクールヘインターンシップとして働く機会をいただきました。物づくりを志す者にとって最高の場を与えられました。

Q 今後はどのような目標をお持ちですか？

A 「PABLO」を地域に根付かせることです。名取市のいろいろな方々と交流することや、外出店のイベントなどにも積極的に参加したいと思っています。先日は、仙台空港に出展し、コーヒーを提供しました。大変楽しかったので、今後も積極的に参加したいと思っています。

Q 北高生にメッセージを！

A いろいろなことに挑戦してください。私も挑戦の中から自分のやりたいことを見つけました。自分の中にとどめるのではなく、実際に行動し、挑戦して欲しいと思います。是非一度、ジャズ喫茶「PABLO」にお立ち寄りください。素晴らしい音楽と空間が皆様をお待ちしております。



お店の壁一面に設置してあるスピーカー



カウンター脇の音響設備

新名取市図書館開館記念行事に参加



12月20日（木）新名取市図書館の開館を記念して祝賀会（ティーパーティー）が開催されました。祝賀会の中で、ビブリオバトルを披露の依頼があり本校の図書委員が招待されました。

ビブリオバトルに参加して 板橋 怜奈（2年・名取二中出身）

新名取市図書館の開館を記念して、図書委員5名でビブリオバトルを披露しました。ビブリオバトルとは、本を紹介するゲームのことで、私はこれまでに何回か経験していますが、大勢の人の前で行うのは初めてで、緊張を隠すことができませんでした。しかし、やり遂げた達成感や温かい拍手をいただき練習の成果を感じることができ、とてもよい経験になりました。また、機会があれば挑戦したいと思います。ご招待いただきありがとうございました。



名取市子ども読書活動推進事業に参加



12月22日（土）増田公民館で、名取市子ども読書活動推進事業「Let's 理科読」が開催されました。本校生は、実験ブースでの子どもたちへのサポートボランティアとして招待されました。

Let's 理科読に参加して 小関 嵩士（1年・玉浦中出身）

私は子どもの相手をするのが好きで、ボランティアにもよく参加しています。「Let's 理科読」に参加してモーターやLEDを使った実験や工作で子どもたちが興味津々取り組んでいる姿に私も大変嬉しく感じました。今回の「Let's 理科読」は新名取市図書館主催で開催されたので、多くの理科に関する本に触れる機会となりました。今後もこのような体験を継続していきたいと思っています。お招きいただきありがとうございました。

